

医療・介護福祉 ワンポイントコーナー

もっと身近に
相談できない
のかな？



先月号のほほえみを読んだ組合員さんから、「質問が寄せられました。」

「介護保険のサービスを使いたいと思った時、どうやってケアマネさんを探せばいいの？市役所や地域包括センターに相談と言われても・・・もっと身近な、健康医療生協では相談に乗ってもらえないのかな？診療所の職員に相談してもいいのかな？支那や班の役員さんに相談してもダメなのかな？医療生協に入っているのだから、その辺を知りたいと思うのだけど・・・」と。しつこい質問の通りだと思えます。しが健康医療生協は、「地域の保健

室」のような、介護や医療保健のことなど、組合員や地域の皆さんの思いに寄り添いながら、最も身近に相談できる所になりたいと思っています。

医療生協の支部や班の役員は、組合員だけでなく、地域の方が、介護や福祉などでお困りの時は、



(資料:赤旗新聞より)

こんな社会はゴメンです！

社会保障や医療体制の問題について学び行動し、誰一人取り残されない「居心地よくらせるまちづくり」をすすめています。

2022年6月22日 (水曜日)

【社会・総合】

(14)

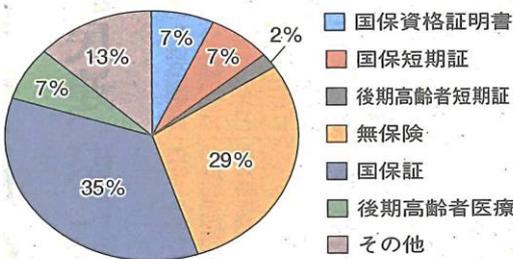
経済的理由 治療手遅れ 死亡事例「氷山の一角」

民医連調査

高すぎる国保料減免を

高すぎる国民健康保険料や医療費の窓口負担(民医連)は2005年から調査を始め、毎年公的負担の軽減を訴え、毎年公表して来ました。昨年の調査で、1年間の事例を20日に明らかにした全日本民医連は、「事例は氷山の一角」(貧しい人から医療を受けられない)と指摘しました。調査は、全日本民医連加盟の全国706事業所を対象に実施。経済的理由で治療が遅れ、手遅れで死亡した事例は少なくありません。

受診前の保険種別



全日本民主医療機関連合会の資料から作成

経済的理由による手遅れ死亡事例

50代・男性	コロナ禍の影響	居酒屋経営で月70万~80万円の収入が、10万~15万円に激減。借金がありました。21年5月に狭心症などで入院。1ヵ月後に一時退院し、再入院が必要でしたが金銭的な理由で消極的になり音信不通に。同年11月、自宅で死亡。
40代・男性	無保険で医療がかかれず	肺炎などで通院するも、21年5月以降、通院が途絶えます。同年8月に呼吸困難で救急搬送。薬が切れていきました。失業後に国保へ切り替えができず、貯金は少ない状態でした。容体が悪化し同月中に死亡。
50代・女性	窓口負担が重く受診抑制に	夫と娘の3人暮らし。18年ごろから乳房のしこりを自覚していましたが、呼吸が苦しくて受診した20年10月まで健診は一度も受けませんでした。乳がんが判明。治療するも21年1月に死亡。19~20年にかけて生活保護を利用していました。

医療生協事務局や、ごぶらひ診療所、介護事業所に相談し、専門のスタッフへつないでいきます。また、組合員でないと診てもらえないのですか?というご質問も多くいただきました。

医療生協は元気な時から医療生協活動に参加し、病気になった時は診療所や介護事業所を利用することが出来ます。ぜひ医療や介護でお困りの時は、お気軽にご相談ください。(事務局)